

**質問** 消費税が増税された3年目となった。年金や医療・介護の保険料も増え続け、非正規雇用者が急増し若年層が安定した仕事に就けないなど、貧困と格差が広がり、子育て・低所得世帯は深刻な状況となっている。そこで、次の3点について所見を伺う。

**町長** 医療保険制度の維持は国全体の課題であり、現時点では、町単独実施の予定はない。② 寝たきり高齢者支援手当を検討すべき。③ 福祉バスを公立福祉病院まで行けるように、むさし野・松原コースを「特区」申請などで改善すべき。

**町長** 介護保険に該当する被介護者および介護者に対する直接の給付事業は、保険制度内

大坪 国広 議員（日本共産党）

## 更に安心できる福祉の充実を

**町長** 町単独実施の予定はない



むさし野・松原コースを走る福祉バス

森 巨 議員（自民新政会）

## 産業振興策への取り組みを問う



**町長** 経営者の声を直接聞く機会を

継続していく

**質問** 総務産業建設委員会は、昨年、地元経済活性化を重要課題と捉え、調査研究を進め12月議会において結果報告した。特に、地元企業を優先させるガイドラインの作成と契約方法の見直し、技術職の確保・育成に向けた取り組みは具現化すべきものと認識するが見解は、また、国の地方創生の調査において都内唯一自治体単独で示された「瑞穂経済圏」のデータや特性を、今後どのように生かし、成長戦略へと結び付けていくのか町長に伺う。

**町長** 町は従来から指名競争入札などにおいて町内業者優先の方針を策定し取り組んでいる。現時点では新たなガイドラインを作成する考えはないが、入札方式の拡充については引き続き研究していく。町の産業活性化には課題解決のために産業規模、他地域との比較地域の産業特性などを把握する必要がある。27年度、町は町内の製造業を中心



5月に東京ビッグサイトで開催された環境展に出展した町内業者のブース

**町長** 当該スポーツ指導に有資格者の活用、育成を

教育長 当該スポーツ団体および体育協会と共に考えていきたい。

近藤 浩 議員（改革みずほの会）

## 西多摩衛生組合の昭島市のごみ受け入れ問題について、町の姿勢を問う



**質問** 1月28日、昭島市長から瑞穂町長あてに西多摩衛生組合での「可燃ごみの共同処理について（依頼）」とする要請文が届いた。現在、西多摩衛生組合では瑞穂町、羽村市の可燃ごみに加え、青梅市や福生市の可燃ごみも受け入れ焼却している。

**町長** 周辺住民や構成団体の意見を踏まえる

こんな質問もありました  
小・中学校の保護者負担軽減策の更なる推進を  
教育長 現時点で内容変更は考えていない。

それに加え昭島市の可燃ごみまで半恒久的に受け入れることになる依頼に対し、町はどのような姿勢で臨むのか、町長の所見を伺う。



ゴミ収集車の搬入の様子（西多摩衛生組合）



山崎 栄 議員（自民新政会）

## 多摩都市モノレール延伸の早期実現について問う

**町長** 早期完成に向け、全力で取り組む



多摩都市モノレール

**質問** 町民が望むモノレール延伸に関して、本年4月20日に国土交通省交通政策審議会小委員会で、「多摩地域の主要地区間のアクセスと利便性の向上」と意図づけられ、中でも「導入空間となりうる道路整備が進んでおり、具体的な調整をすすめるべき」との答申が発表された。現在、新青梅街道幅用地の買収も目に見えて進み、大変期待が高まるところである。町として早期実現のための対策やモノレールに係わる町づくりへの取り組みを伺う。

**町長** 新たな答申は、地域の成長に欠かせない路線として位置づけられ、喜ばしく思っている。今後、整備促進を加速するために、関係機関と協議の場を設け、条件整備を図る必要がある。また、採算性に寄与するための具体的施策の提案、整備に対する地元負担に備えた財源確保などの準備に取り掛からなければならぬ。モノレールの早期完成に向けて、議会や町民と一体となり、町としてできることを、沿線自治体と協力しながら全力で取り組んでいく。